

社会と秩序を守り続ける安心・安全のシンボル

テーマ1「警察機能を発揮させる機能的な施設づくり」について

機能的で合理的な敷地計画

・公務車両の迅速な出動のため、車両出入口は3か所設けます。
 ・公務用車両専用は **A**、一般用は **B** と広島駅方面、宇品方面の両方向へ向かえる **C** を設けます。さらに **A** から **C** を繋ぐ約6m幅の公務用車路を確保します。車路に沿って職員駐輪場・事故車庫・大型車両車庫・公務用車庫・ピロティ内に公務用車両置場・自動二輪置場を配置することで、スムーズな出動を可能にします。また、既存のバス停を移動させることのない計画です。
 ・庁舎を敷地中央に配置することで、公務エリアと一般エリアを明確に区分します。公務エリアはセキュリティと秘匿性が向上し、一般エリアは来庁者が分りやすく安心して利用できます。

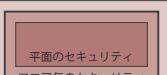
建物のボリューム検討

上記の配置計画を基に上層階の検討を行った結果、「機能的性(動線)の向上、および近隣との調和を図る」ためには、低層化した5階建て案が最適と考えます。

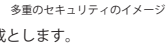


多重のセキュリティと秘匿性を保つ施設計画

＜敷地のセキュリティ＞ 庁舎・車庫・圍繞措置により、公務エリアと一般エリア、近隣を区分し明確なセキュリティラインを形成します。



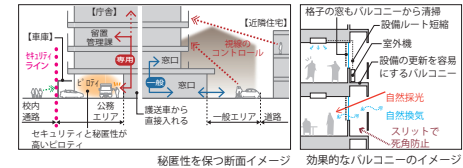
＜フロア毎のセキュリティ＞ 低層階に窓口業務がある課を集約し、高層階にセキュリティレベルが高い諸室および来庁者が少ない諸室を配置した明確な構成とします。



＜平面のセキュリティ＞ セキュリティレベルが高い執務室(刑事課・留置管理課など)には、専用階段・EVから直接アクセスできる動線を確保します。その他の課についても専用階段・EVに隣接して配置します。一般階段・EVは各執務室から視認できる位置に設けます。各取調室は執務室からの出入りを基本とします。

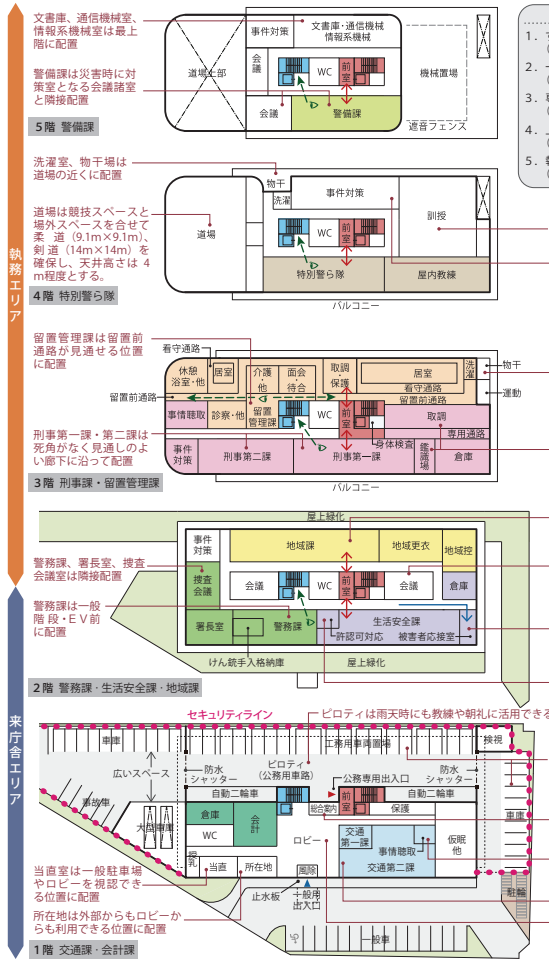
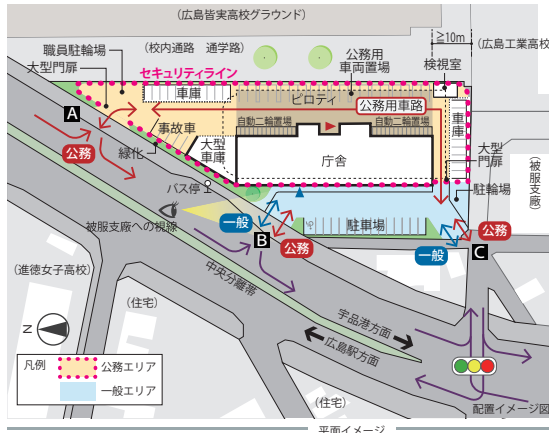
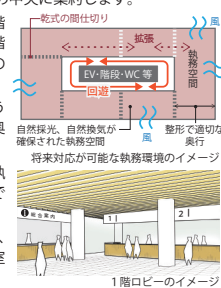
＜秘匿性を高める動線計画＞ 専用階段・EVの入口をピロティ内へ設け、被疑者が護送車からEVに直接入れられる設えとし、プライバシーの確保と逃走防止を両立します。事情聴取室、被害者応接室は執務室を介さず利用できる計画とします。

＜視線のコントロール＞ バルコニーは、外部からの視線を効果的にコントロールする一方、手摺壁の下部にスリットを設けるなど、死角が生じないように配慮します。またピロティ内の防水シャッターを下ろすことで、より秘匿性を向上させることができます。



警察機能を高める執務環境

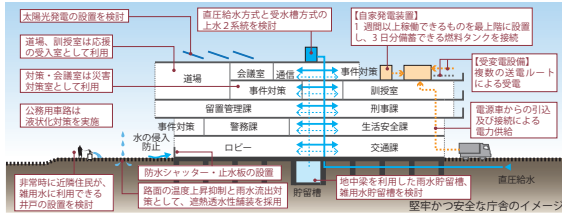
- ① 将来の組織変化に対応できるように間仕切り壁はすべて乾式化し、階段やEV、WC、シャフトは建物の中央に集約します。
- ② 高いセキュリティが必要な3階(刑事課・留置課)を除き、上階は機動的・連携性の高い回遊型の廊下とします。
- ③ 室内レイアウトがしやすいように、執務空間は整形かつ適切な奥行きとします。
- ④ 快適な室内環境とするために、執務室は採光・通風・換気が確保できる外周に配置します。
- ⑤ 様々な状況に対応できるように、会議室は各階に分散し、執務室に近接配置します。



テーマ2「万全な防災対策による安全な施設づくり」について

24時間365日業務を継続させる堅牢性・安全性

- ① 1mを超える浸水対策として、1階床レベルを高く設定し止水板を設けます。
- ② 公務用車路は液状化対策を行い、災害時でも出動を可能にします。
- ③ 回遊型廊下と、2方向から入れる階段・前室により、素早い避難を可能とします。
- ④ バルコニーを設置し、火災時に上層階への延焼を防ぐとともに、一時避難場所や救助活動や消火活動に活用します。



テーマ3「周辺環境と調和した魅力ある公共建築物としての施設づくり」について

敷地環境の特性に合わせた調和の創出

敷地周囲には学校や住宅、南側には被爆建物の被服支廠があるなど、県民の日常と歴史が混在した敷地環境です。そのため住宅や校内通路から適度な距離を設け、周囲に圧迫感を与えない5階建てとします。敷地周囲には空地を設け緑化を施し、被服支廠へ視線の抜ける、見通しの効いた緑溢れるグランドデザインをします。敷地を有効活用するために、2階屋上と車庫屋上の一部にも緑化を行い、広島市緑化条例にある緑化率10%以上を確保します。安価な自動灌水装置を設置し、管理を容易にします。

警察機能・執務環境に配慮したデザイン

執務諸室には用途や機能に応じた開口部と、住宅や通学路との視線交錯を防ぐバルコニーを設け、自然の採光・通風を確保とします。また5階の壁面をバルコニーの帯で分節することで圧迫感を軽減し、親しみを感じる外観とします。北側の壁面は柔らかな曲面でつくり、安心・安全のシンボルとしてファサードをデザインします。

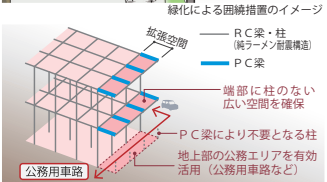
ユニバーサルデザインへの配慮

前面道路から分りやすい場所に風除室と所在地を配置し、ロビー、総合案内まで見通せる玄関とします。歩道・駐車場から風除室まで緩い勾配のスロープを設け、車いす利用者やベビーカー利用者など、全ての人が使い易い計画とします。

ライフサイクルコスト削減の具体的手法

- ① 庁舎を低層化することで、バルコニーは外壁の経年劣化を防止すると共に、格子化を防止すると共に、格子窓まわりの清掃を容易にします。また日射による熱負荷の抑制も行い空調負荷の低減を図ります。
- ② 上層階の一部をPC梁とすることで柱・杭の本数を減らし、コストを抑えます。
- ③ バルコニーは外壁の経年劣化を防止すると共に、格子化を防止すると共に、格子窓まわりの清掃を容易にします。また日射による熱負荷の抑制も行い空調負荷の低減を図ります。
- ④ 設備機器は各階のバルコニーに分散配置し、配管・配線ルートを短縮します。機器・配管類の更新も部分的に行えるメンテナンスしやすい計画とします。

- ⑤ 重要な情報システム類は、電源の系統分けや多重化により、停止しない計画とします。
- ⑥ 1階ロビーや訓練室、道場、会議室などは、災害対策室、緊急援助隊のベースキャンプとして活用出来るよう、情報回線や非常電源を設け、十分なスペースを確保します。
- ⑦ 外部一般用駐車場は災害対策活動拠点として活用できる十分な広さを確保し、非常電源の取出口やマンホールトイレの設置を検討します。



概算工事費(税別・千円)	
庁舎建築工事	1,715,000(本体5860㎡程度)
庁舎設備工事	660,000(電気・給排水・空調・EV)
車庫棟・駐輪場	77,000(車庫棟・検視室450㎡程度)
外構工事	33,000(公務用車両庫液状化対策含む)
合計	2,485,000